

発行 宮崎県東臼杵郡東郷町・編集 企画調整課 TEL(0982)69-3901
 〒883-0192 宮崎県東臼杵郡東郷町大字山陰丙1374番地
 印刷 (有)是沢印刷 日向市本町 TEL(0982)52-2567



立派に育てました・東臼杵郡市共進会で優等賞首席(岡村さん)

町政等座談会のお知らせ……………2ページ
 若山牧水記念文学館が着工……………3ページ
 まちのアルバム……………4～5ページ
 認定農業者……………6ページ
 サラッとタイム……………7ページ
 保健だより……………8～9ページ
 さくら館だより……………10ページ
 インフォメーション……………11～13ページ
 ちびっ子ギャラリー……………14ページ

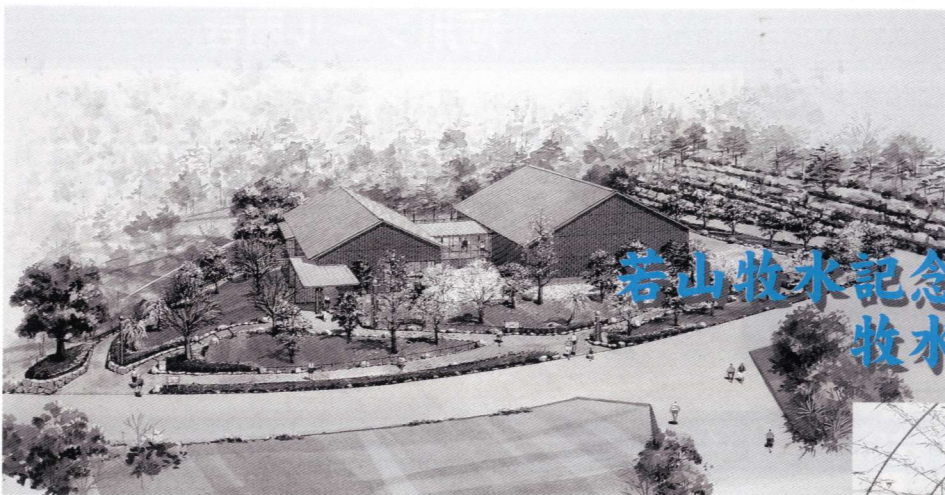
上つ瀬と下つ瀬に居りてをりをりに
 呼び交わしつつ父と釣りにき

牧水

人口 4,972人(△3)
 男 2,345人(△1)
 女 2,627人(△2)
 世帯数 1,733戸(△1)

平成16年7月1日現在
 ()は対前月比





◀若山牧水記念文学館完成予想図

若山牧水記念文学館に着工 牧水生家も改修

7月6日(火)、牧水公園内の若山牧水記念文学館の建設予定地で、新築工事の安全祈願祭が町や工事関係者ら約五十人が出席して行われました。郷土の歌人・若山牧水を顕彰する新たな拠点となる文学館は、木造平屋建てで、延床面積756㎡。総事業費は周辺の景観整備も含め約3億円、来年4月に開館します。



があり、ギャラリーを兼ねた廊下でつなぎます。展示室には、牧水の作品はもとより、遺品や写真などを使って生い立ちをたどるコーナー、中原中也と親交のあった詩人・高森文夫氏の詩集などを展示する計画です。また、牧水生家も老朽化が進み、家の傾きなどが見られるため、これを解体し、使える部材はそのまま利用して再構築する保存修復工事が行われています。平成17年4月には、修復が終わった生家をご覧いただけるようになります。



改修工事が行われている牧水生家

7月11日(日)、総合文化センターで、町文化協会主催(町老人クラブ協催)により、ふる里への想い競演「山陰で育った民謡家たち」と題して、本町ゆかりの民謡家たちの唄や舞踊の公演がありました。



ふるさと文化事業 競演「山陰で育った民謡家たち」

れる東郷町の再認識と、民謡を通して、尚一層文化の充実に向上を図ることを目的に開催したものです。当日は、会場いっぱいの来場があり、盛んな拍手が送られていました。



町政等座談会を開催します

町では、隔年実施してまいり、町政懇談会と市町村合併関係の説明の場として「町政等座談会」を開催します。市町村合併の今後の町の方針として、「自立の道」と「合併の道」の2つを指すこととしていきます。このことを含め座談会を開催して、広く町民の皆様のご意見を伺うことといたします。多くの方の出席をお願いします。

町政等座談会日程表

期 日	対象地区	会 場	開始時間
8月18日(水)	寺 迫	寺 迫 小 学 校 講 堂	午後7時
8月20日(金)	仲 深	仲 深 地 区 集 落 セ ン タ ー	"
8月21日(土)	越 表	越 表 地 区 生 活 改 善 セ ン タ ー	"
8月22日(日)	小 野 田	小 野 田 公 民 館	午前9時
8月24日(火)	福 瀬	福 瀬 公 民 館	午後7時
8月25日(水)	八 重 原	八 重 原 地 区 高 齢 者 プ ラ ザ	"
8月26日(木)	鶴 野 内	鶴 野 内 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	"
8月27日(金)	田 野	田 野 地 区 集 落 セ ン タ ー	"
8月28日(土)	迫 野 内	迫 野 内 地 区 多 目 的 研 修 施 設	"
8月30日(月)	羽 坂	羽 坂 地 区 生 活 改 善 セ ン タ ー	"
8月31日(火)	坪 谷	坪 谷 地 区 多 目 的 研 修 施 設	"
9月1日(水)	下 渡 川	下 渡 川 集 会 施 設	午前9時

平成16年度 町消防操法大会

第5部(坪谷)が優勝



優勝の第5部

6月27日(日)、平成16年度の町消防操法大会が、総合グラウンド下駐車で開催されました。各部とも、日頃の訓練の成果を出しきったのすばらしい操法で競い合いました。厳正な審査の結果、第5部が優勝しました。なお、8月7日(土)に日向市小倉ヶ浜の消防訓練広場で開催される日向支部操法大会には、第5部と第4部(羽坂)が出場します。

【大会結果】
優勝 第5部(坪谷)
部長 大野靖文
指揮者 三浦岳史
1番員 黒木松博
2番員 那須博文



緊張の面々



ラッパ隊

第2位 第6部(越表・下渡川)
部長 谷岡弘明
指揮者 山床盛富
1番員 河野定治
2番員 山床弘樹
3番員 菊池康英
第3位 第10部(田野)
部長 沖田肇
指揮者 谷口博
1番員 寺原太
2番員 三浦辰美
3番員 黒木喜弘

“坪谷が優勝” 町婦人会バレーボール大会

7月18日(日)、町婦人会バレーボール大会が開催されました。本年は、公民館球技大会が中止となり、婦人会主催の大会となりました。

坪谷婦人会が優勝し、8月22日(日)、西郷村で開催される東臼杵郡大会に出場します。

【試合結果】
坪谷2-0 福瀬
寺迫2-0 福瀬
坪谷2-1 寺迫



坪谷チーム



福瀬チーム



熱戦でした



寺迫チーム

祝 福瀬クラブ県学童選抜大会出場

7月24日(土)・25日(日)に都市市で開催される、県学童選抜野球大会に福瀬小のスポーツ少年団「福瀬クラブ」が出場することになり、チームの代表として6年生の川越牧人君ら4人が町長に出場報告をしました。

今回の推薦は、子どもたちのひたむきな努力が、そして卒業していった子どもたちの築き上げてきた実績が認められたものと、皆さん大変喜んでおられます。

町長から、「頑張ってきてください」と励まされた子どもたちの目は輝いていました。



東郷中学校総合優勝(11年ぶり)

6月25日(金)、南郷村で行われた、東臼杵南部中学校総合体育大会(陸上競技)で、東郷中学校が、11年ぶりに総合優勝しました。

選手たちは、トラック、フィールドともにすばらしい活躍をみせ、快挙を達成しました。この大会での上位入賞者は7月末に開催される県大会に出場します。



山陰保育園、にぎやかに夏まつり

7月10日(土)、山陰保育園では恒例の夏まつりが開催されました。

保護者やじいちゃん、ばあちゃん、多くの皆さんが集まり会場は大変な賑わいを見せていました。

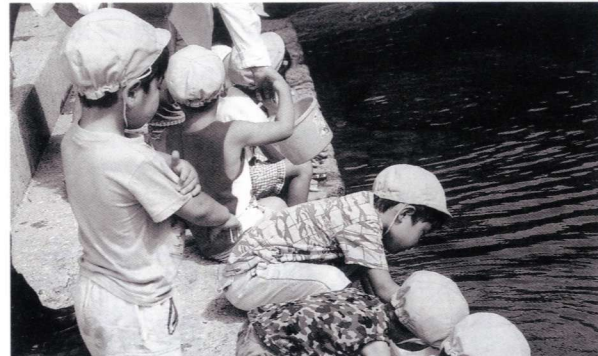
会場では、保護者やボランティアによるバザーやステージでの出し物があり、まつりのフィナーレには打ち上げ花火もあり、参加者全員で楽しんでいました。



河川プール開き

7月6日(火)、牧水公園前の河川プール開きがありました。関係者による神事の後、坪谷幼稚園児がアユを放流して、開放期間中の安全を願いました。

プールは、長さ八十メートルの区間をロープで区切り、8月31日まで開放します。(悪天候の場合は、遊泳禁止とする場合があります。)



CSR(企業の社会的責任)活動

6月25日(金)、東郷町建設業・冠会(山下良孝会長)は、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、町道の除草作業を実施しました。この活動は、企業の利潤追求だけではなく、奉仕の精神をもって地域に貢献していくこととするもので、定期的に取り組んでいるものです。

この日は、16社の会員全員で作業を行い道路は見違えるほどきれいになりました。



交通安全キャンペーン

7月12日(月)、鶴野内前田の国道327号沿いで、日向警察署と町交通安全協議会との合同キャンペーンが実施されました。

本年の夏の交通安全県民総ぐるみ運動は、「交通安全 ゆずる優しさ 待つゆとり」をスローガンに展開されました。当日は、町婦人会長や関係者が、ドライバーにチラシや飲物等を配付し、交通安全に対する意識を高め、交通事故を起こさないよう一人一人が思いやり、ゆとりを持って事故防止に努めるよう呼びかけました。



町老人クラブ大会開催

7月11日(日)、総合文化センターで、町老人クラブ(楠光会長)大会が開催されました。

会員370名の出席があり、功労者表彰、交通安全に関する講話などがあり、熱心に聞き入っていました。

また、「ふるさとの文化に親しむ」と題して、本町民謡愛好家たちの唄、舞踊、三味線や冠太鼓の演奏もあり大会に花を添えました。



今から収穫が楽しみ・田植えをしました

7月8日(木)、東郷小学校の5年生25名が、田植えを体験しました。

これは、県内で唯一、東郷小、福瀬小、東郷中の3校で取り組んでいる「学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業」の一環で、作業は、JA日向東郷支店の青年部、育苗所やJAの職員と協力し合い、泥まみれになりながらも楽しそうに植えていました。

秋に収穫することとなるもち米は、おいしいお餅になったり、イベントでも使われるそうです。



農業×夢＝認定農業者

今月は寺迫の田代久司さんにお話を伺いました。

○現況と今後の経営

現在、温州みかん(ハウス、露地)と水稲、千切り大根を組み合わせた複合経営を行っています。

経営規模は温州みかんの露地栽培百五十アール、ハウス栽培三十五アールに早期水稲八十アールその後作に千切り大根五十アールを栽培しています。

○農業経営改善支援センター 専任職員の声

今月は寺迫の寺迫にお住まいの田代久司さんを訪問して取材しました。

田代さん宅は祖母、ご両親、ご夫婦に娘さん二人の七人でお暮らしです。

田代さんは露地温州みかん百五十アールとハウスみかん三十五アールに早期水稲八十アール、千切り大根五十アールの複合経営をされています。十年ほど前までは施設ぶどうも栽培されていたようですが、近年はハウスの被害を受け現在のみかんを中心の経営に取り組んでおられます。また、お父さんはプロライナー三棟の経営を別途されておられるようです。現在、ハウスみかんの収穫をされていますがその状況をお聞きしたところ価格は五



kgで二千円程度でまあまあの事でした。ハウスみかんは極早生の日南一号八アール、興津早生十五アール、上野十アールの三十五アールで極早生は糖の乗りが良くなかったが興津、上野は糖度が十二度以上と品質がよいとの事でした。

露地の温州みかんは今年も豊年であるが田代さんところは果実のなり方が多く価格がよいと楽しみと期待されていました。

早期水稲は年々収量が減っているが後作の千切り大根が昨年はA品が多く良かった。

今後の経営についてはみかん園が老朽化してきたので施設の日向夏みかんを導入して経営の安定に努めたいとのことでした。また、経営については記帳して把握はしているが現在奥様がパソコンの研修を意欲的に取り組んでおられます。

田代さんは、パソコンを導入され奥様がパソコンの研修を受けておられるようですがパソコンは先ず慣れる事が大切で、そしていかに継続するかであると思います。パソコンによる経営管理が早く実現されるようお祈りいたします。

もみすり 組合表彰

坪谷の富山三義さんが、もみすり業の技術の練磨向上に精進され、産米改善に貢献されているということで、宮崎県もみすり業組合連合会より表彰を受けました。

富山さんは、適期刈り入れ、カメラシ防除などを実践されることも、啓発活動にも熱心で、農家から預った大切なお米を、誠心誠意をもって管理し、もみすりを行っておられます。



坪谷・富山三義さん

畜産だより

7月期子牛郡共進会が開催されました。本町から6頭出品しています。成績については次のおりです。

東臼杵郡市共進会 雌子牛の部

- 坪谷 岡村賢一 かつしーの1号 優等賞首席
- 坪谷 矢野義美 はるよ5号 優等賞4席
- 羽坂 福永マスマ かつふく101号 参等賞
- 去勢の部
 - 追野内 黒木クニカ 黒木76号 2等賞
 - 羽坂 福永マスマ 勝福103号 2等賞
- 団体成績 5位
- 家畜審査協議会 女性部 優勝 高尾ふさ美
- 雌子牛の部
 - 庭田 黒木国寛 式等賞
 - くみ5号



式等賞

サラッとタイム vol.10

4月に、福瀬小学校の子供達と初めて田植えを体験しました。田んぼに入っていたら、「気持ち悪い」と子供達が言いました。確かに、足に当たる泥水の感触がちょっと不思議でしたが、冷たいぬかるみは疲れている足に気持ちいいな～と私は思いました。その時に、ハワイでタロイモを植えたことを思い出しました。



昔のハワイでは、タロイモは主食でしたが、最近では、食べる人も、作る人も、少なくなっています。子供達は、タロイモを植える機会はほとんどないと思いますが、私は小さい頃、両親が農業をしていたので、よく畑でタロイモを作りました。そのタロイモをいつも食べなければならなかったのが結局嫌いになってしまいました。でも、高校生になったときに、家から離れた高校に通うことになって、畑で作られたタロイモを食べたい気がしました。

私が通っていた高校は公立高校でしたが、日本の学校と違って、義務教育でしたので学費はかかりませんでした。その代わり、私みたいに離れているところから来て、寮生活をしていた学生達は、1日3時間校庭にある畑の手伝いをしなければなりません。

畑で、牛やブタ、鶏などを飼いました。果物も野菜も作りました。つまり、自分達の食べる食材は自分達の手で作っていました。

私が担当していたのはタロイモの田んぼでした。小さい頃、作った経験があったので、大丈夫だろうと思いましたが、田んぼの維持はとても大変でした。毎日3時間、田んぼに入ってタロイモを植えたり、肥料を入れたりしました。雨が降らなくて川の水が少なくなったら、バケツで運びました。大雨のときに、田んぼ

のあぜが崩れたら、雨の中、直さなければなりません。勉強で疲れているときも畑をしなくちゃならないと、みんな文句を言いましたが、私は田んぼに入っていたら一日の疲れが取れました。勉強でも仕事でも、外に出ることがなくなると、人間に良くないと思います。ちょっとでも自然の中に入るとストレスや悩みがなくなりますよね。

6月に、自然に触れることの少ない東京の友人が遊びにきました。友人を福瀬に連れて行って、「ほら、私が植えたよ!」と小さな田んぼを指さして言いました。「サラが植えたのは、誰かが食べるわけ?!」と言われましたが、きっとおいしいお米ができると思います。



短歌 尾鈴短歌会

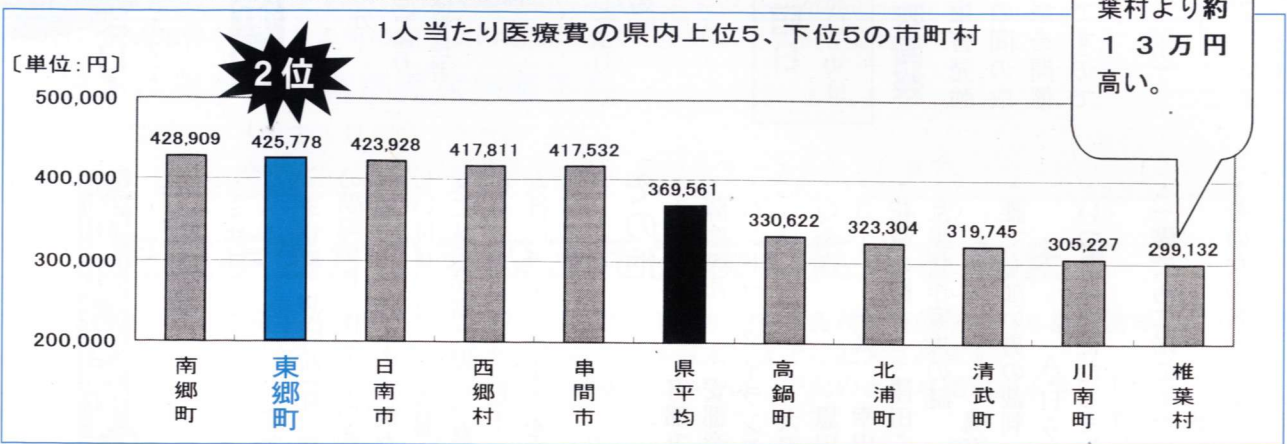
- 老いし身の独り歩きは気掛かりと 三浦園男
- 夜光のたすき妻は奨める 三浦園男
- たえまなき雀の声の収まりてみどり増す山にホトトギス鳴く 木村映一
- 田起しの済みたる前の田に水張りぬ 若藤美智子
- 芽吹く冠岳の写りぬ 若藤美智子
- 平凡は幸せなりき老い夫の入院に 黒木ヒサ
- 暮らしの歯車狂ふ 黒木ヒサ
- 細長き川面にカヌー浮かびて岡の公園に緑のそよぐ 小山貞代
- 幼孫に誤魔化されしもその知恵の 東村吉市
- 深きを思い一人笑いす 東村吉市
- 夜半覚めてかすかな雨音聞きており 寺原八重子
- 遠く住む娘の誕生日近し 寺原八重子

- わが家に並ぶ右左の変わりきて 本多茂雄
- 文具店パチンコ屋店を閉じたり 本多茂雄
- 初給料を孫の供へし仏壇に微笑む母の今日は初七日 佐藤キヌ子
- 親と子の絆の疎き世となるか友をたやすく殺す世となる 岩木幸美
- 病院の待合室に語りて 岩木幸美
- 五十年前の友と知りたり 岩木幸美
- 音もなく五月雨の降る夜は寂し逝きし弟の面影偲ぶ 橋口忠孝
- 若き日の雪中登山に道を迷い星を頼りし吾が若かりき 佐藤鈴子
- 吹き上げる潮風が心を洗ふごとし 木村秋男
- 沖を行く船はや灯りをり 木村秋男
- 耳川を流るる朝の霧ふかく 高野美智雄
- 牧水の里に夏近づきぬ 高野美智雄

とうごうの国保

～医療費と保険税～

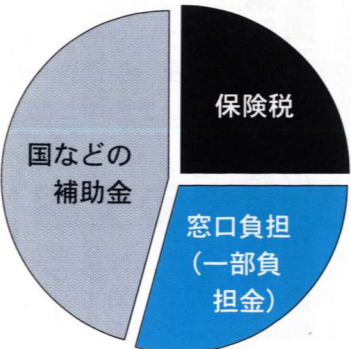
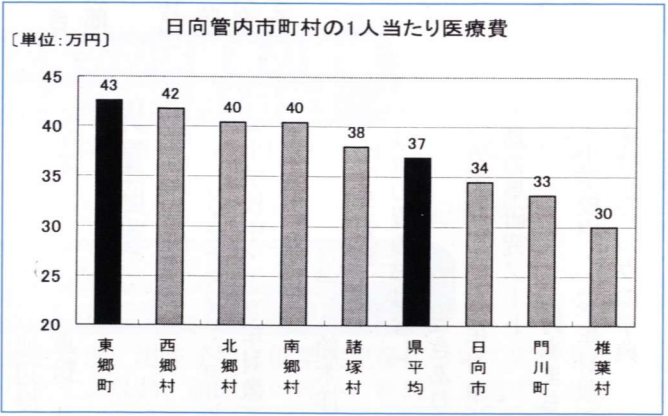
平成15年度の医療費を発表します



15年度の東郷町の国民健康保険における「1人当たり医療費」は約43万円でした。これは、県内で2番目に高い費用額で、1番低い椎葉村とは約13万円の大きな差があります。

日向管内市町村では、2位の西郷村、3位の北郷村と比較しても、東郷町は1～3万円高くなっています。

15年度の総医療費は11億2千万円で、過去5年間で一番高く、年々増加しています。この医療費は、皆さんが納める保険税と補助金等と窓口で支払う負担金とでまかなわれています。当然、医療費が増加すれば、皆さんが納める保険税を値上げせざるを得なくなります。



保険税の決め方

保険税は、その年の医療費総額を推計し、国などの補助金などを差し引いた額を保険税として各世帯に割り当てます。

一世帯当たりの保険税額は、次の4項目を組み合わせた計算によって、一世帯ごとの年間保険税が決まります。

平等割	一世帯いくらと計算した額
均等割	加入者1人当たりいくらと計算した額
所得割	各世帯の収入に応じて計算した額
資産割	各世帯の資産に応じて計算した額

医療費を大切に使うために出来る事を考えましょう!

1. かかりつけ医をもちましょう
2. お医者さんのかけ持ちはやめましょう
3. お薬をたくさん欲しがるのはやめましょう
4. 日頃から健康づくりを心がけましょう

平成16年度 後期集団検診日程表

平成16年度後期の集団検診を下記のとおり行います。今年度、下記検診を受診していない方は、都合の良い会場で受診して下さい。

検診は、病気の早期発見に欠かすことができません。健やかな毎日を送るために1年に1回は必ず受診しましょう。

期日	結核	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん	会場	受付時間
7月28日(水)	○	○				越表体育館	9:30～9:50
"	○	○				下渡川集会施設	10:10～10:20
"	○	○				町営住宅坪谷本村団地	10:50～11:10
"	○	○					11:20～11:30
"	○	○				仲深地区集落センター	11:40～12:00
"	○	○				羽坂地区生活改善センター	13:10～13:30
"	○	○				田野地区集落センター	13:40～14:00
"	○	○				鶴野内道の駅「さくら館」	14:10～14:20
"	○	○				八重原地区高齢者プラザ	14:30～14:50
"	○	○				迫野内地区多目的集会施設	15:00～15:20
7月29日(木)	○	○				やすらぎ館	9:30～9:50
"	○	○				福瀬公民館	10:20～10:40
"	○	○				庭田公民館	11:00～11:20
8月3日(火)			○			山ノ口集落センター	7:30～8:00
"				○		牧水庵	9:00～9:30
"				○			10:30～11:00
"				○		越表体育館	13:00～14:00
"				○		やすらぎ館	15:30～16:00
"				○		山ノ口集落センター	17:30～18:30
8月4日(水)			○			寺迫連絡所	7:30～8:00
8月5日(木)			○			やすらぎ館	7:30～8:00

保健だより
やすらぎ館
3901-3307



受診料

結核	なし
大腸がん	200円
胃がん	500円
子宮がん	400円
乳がん	900円

8月の行事予定表

期日	場所	受付時間
ちびちびCLUB		
3・17日(火)	やすらぎ館	10:00～12:00
リハビリ教室		
19日(木)	シルバーセンター	10:00～10:10
乳児健康診査		
11日(水)	やすらぎ館	12:30～13:00
3歳児健康診査		
11日(水)	やすらぎ館	13:00～13:30
さくらんぼの会		
26日(木)	やすらぎ館	10:00

8月地区巡回健康相談

期日	会場	受付時間
2日(月)	大谷地区営農研修センター	9:30～10:00
	小野田多目的集会施設	13:30～14:00
9日(月)	やすらぎ館	9:30～10:00
18日(水)	山ノ口集落センター	10:00～10:30
	落鹿公民館	13:30～14:00
20日(金)	中尾公民館	10:00～10:30
	庭田公民館	13:30～14:00
24日(火)	長崎集会所	9:30～10:00
	日田尾集会所	11:00～11:30
25日(水)	広瀬生活改善センター	14:00～14:30
	福瀬下村公民館	9:30～10:00
27日(金)	鳥川公民館	13:30～14:00
	中野原営農センター	9:30～10:00
	中野原1地区コミュニティセンター	13:30～14:00



すこやか東郷をつくろう会
6月24日(木)、すこやか東郷をつくろう会(小林喜三会長)が開催されました。この会は、
①本町の21世紀における健康づくり
②町民の健康づくりの推進
③医療費抑制対策
について協議し、「中山間の地域ケアシステム構築」に、住民の意見を反映させていくために活動しています。会では、県内でも高い医療費の状況の説明等がなされ、本年度の活動計画が決定されました。
また、今後の方向性について、スーパードバイザ(都城保健所地域保健課主査)酒元誠治氏からお話がありました。

お忘れなく!

児童扶養手当現況届 特別児童扶養手当所得状況届 の提出期間です

上記手当の受給者は、毎年、その前年の所得等について届け出なければなりません。届出が遅れた場合、手当が支給されなくなる場合がありますのでご注意ください。対象者には通知書を郵送しますので、次の期間にやすらぎ館にて手続きを行って下さい。

○児童扶養手当・特別児童扶養手当

受付期間 8月11日(水)～20日(金)
※詳しくは、保健福祉課福祉係(電話69-3367)まで。

児童手当が小学校3年生まで拡大されます

平成16年4月1日から児童手当制度が拡充され、支給対象年齢が現在の義務教育就学前(6歳到達後最初の年度末)までから、小学校第3学年修了前(9歳到達後最初の年度末)までに拡大されます。新たに児童手当を受けようとする児童の保護者の皆様については、下記のとおり認定請求等の手続きが必要となります。

なお、改正に伴う新規認定請求等は、平成16年9月30日まで受け付けたものに限り、特例的に4月1日(または支給要件に該当した日)に遡って支給されます。

平成16年度小学校入学児童等の保護者の皆様 (平成9年4月2日生～平成10年4月1日生)

平成16年3月まで当該児童に係る児童手当等を受給していた保護者の方は、特段の手続きは必要ありません。但し、6月分以降については現況届の提出が必要です。

上記に該当しない保護者の方で受給資格がある場合は、認定請求が必要になります。(下記参照)

平成16年度小学校2・3年生の児童の保護者の皆様 (平成7年4月2日生～平成9年4月1日生)

現在、児童手当等を受給していない保護者の方は新規認定請求、現在すでに就学前児童について児童手当等を受給されている保護者の方は額改定認定請求が必要となります。なお、請求書のほか、新規認定請求に必要な添付書類は、

- ・健康保険被保険者証の写し等(請求者が厚生年金加入者等の場合)
- ・所得証明書(4・5月分については、平成15年1月1日に本町に住所がなかった場合)

(6月分以降については、平成16年1月1日に本町に住所がなかった場合)

などとなっています。

※所得が一定額以上の場合、児童手当が支給されない場合があります。

詳細につきましては、保健福祉課(電話69-3367)までお問い合わせ下さい。

「国土保全大使」体験モニターツアー ～山・水・人発見～

耳川流域の日向・東臼杵南部8市町村で構成する耳川流域国土保全協議会では、山・水・人とのふれあいを通して国土保全に関心を持っていただくために1泊2日の体験モニターツアーを行います。そば打ち体験・枝打ちの林業体験や山の歴史や文化を学びます。

開催日時：平成16年10月16日(土)9:30分発から17日(日)17:30着(日向市役所発着)
東郷町役場発一午前10時

行き先：椎葉村(上椎葉地区他)

対象：日向・東臼杵南部市町村圏域の小学校5年生以上の住民

【小・中学生は要保護者同伴】

募集人員：圏域全体で50名(応募多数の場合は抽選)

参加費：(宿泊・食事代・保険代含む)小・中学生1,500円 一般3,000円

申込締切：平成16年9月17日(金)

決定通知：平成16年10月8日(金)までに通知いたします。

申込み・問い合わせ連絡先：耳川流域国土保全協議会事務局

東郷町農林振興課林政係 電話69-3908(内線61・62)

FAX69-2398

さくら館 だより

電話 69-3171

8月の主な行事

ビデオ上映会

- ☆14日(土) 13時30分
『まんが日本昔ばなし』より
『うばすて山』 『芋ほり長者』
『ムカデの使い』
- ☆28日(土) 13時30分
『まんが日本昔ばなし』より
『屁ひり女房』 『旅人馬』
『八郎潟の八郎』
『猿の恩返し』

さくら館の休館日

2日・9日・16日・23日・30日

夏休みふれあい映画祭

毎年8月は「人権啓発強調月間」です。この間の取り組みとして、映画祭を開催します。入場無料です。是非おいでください。

■とき 8月7日(土)

午後1時30分

■ところ さくら館

1、みんな友だち(アニメ)

新刊図書紹介



- 2、みんなで跳んだ(アニメ)
- 3、ベースボールキッズ(実写)

- ・上海迷宮 内田康夫
- ・パンビの剥製 鈴木清剛
- ・野川 古井由吉
- ・ダ・ヴィンチ・コード 丹・ブラウン
- ・輪違屋糸里 上・下
- ・脳みその研究 浅田次郎
- ・淫らな罰 阿刀田高
- ・スペース 岩井志麻子
- ・自転車少年記 加納朋子
- ・シーボルトの眼 竹内真
- ・令嬢テレジアと華麗なる愛人たち ねじめ正一
- ・長崎乱楽坂 藤本ひとみ
- ・しなやかにしたたかに 吉田修一
- ・卒業 渡辺淳一
- ・重松 清

- ・怪物ガールと、ぼく
- ・ロイド・アリグザンダー
- ・ゲド戦記外伝
- ・ルリグウィン

第50回青少年読書感想文 全国コンクール課題図書

- ☆小学校低学年の部
- ・このはのおかね、つかえます
- ・茂市久美子
- ☆小学校高学年の部
- ・救出 木暮正夫
- ・海でみつけたこと 八束澄子
- ・すてねこタイガーと家出犬スポーツ
- ・リブ・フロード

えほん

- ・三びきのコブタのほんとうの話
- ・メイシーちゃんのためのし
- ・いキャン
- ・ルシー・カブズ
- ・なげないちつちやいかなる
- ・やまうちかずあき
- ・うんち ニール・レイトン
- ・えんにち奇想天外
- ・つちだのぶこ
- ・赤いカヌーにのって
- ・ベラ・B.ウィリアムズ
- ・じゅうにんのちいさなミ
- ・イラッコ
- ・G.ブライアン・カラス

第50回青少年読書感想文 全国コンクール課題図書

- ☆小学校低学年の部
- ・きつねのみさま 酒井駒子
- ・しゅくだい いもようこ
- ☆小学校中学年の部
- ・ずいとい先生と化けの玉
- ・よみがえれ、えりもの森
- ・高田三郎

※他にもたくさんあります

街の話題

秋にはきれいな
コスモスを



仲深のやろうかい野々崎(大石喜太男会長)は、7月11日(日)、地区内の休耕田にコスモスの作付けを行いました。

作業は、老若男女二十数名が、協力し合い梅雨明けの猛暑の中行いました。

秋には、きれいなコスモスが楽しめることでしょう。

会員は、野々崎の眼鏡橋付近の景観整備なども取り組んでいます。



高松保育園



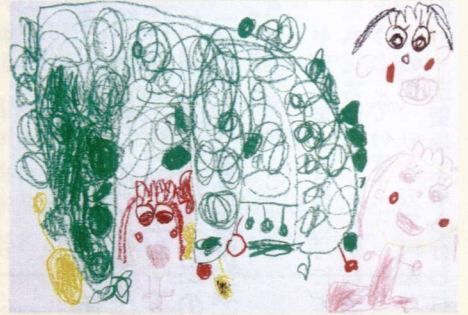
寺迫山ノ口

中川 咲さん(6歳)

父 哲治さん

母 可奈さん

- 好きな食べ物は何か?
ケーキ、ぶどう、卵焼き、トンカツ
- 好きな遊びは何か?
ブランコ、プールの遊び、うんてい
- 大きくなったら何になりたいですか?
ケーキ屋さん



▲「ピーマンちぎり」



▲「わたしとおともだち」



寺迫区山ノ口

田島 可穂さん(6歳)

父 基貴さん

母 由紀子さん

- 好きな食べ物は何か?
ぶどう、サラダ、カレーライス、もも
- 好きな遊びは何か?
鉄棒(さか上がりができた)、うんてい、ブランコ、プールの遊び
- 大きくなったら何になりたいですか?
ケーキ屋さん

表紙牧水のうたの解説

都甲 欣一

上つ瀬と下つ瀬に居りてをりをりに
呼び交わしつと父と釣りにき

(黒松)

この歌は、昭和二年の正月「鮎つりの思い出」と題して詠んだ二十五首の中の作品で、第十五歌集「黒松」に収められています。

牧水生家前の坪谷川の清流には鮎がたくさん棲んでいた。少年時代の牧水はよく鮎を釣った。

この歌について「命の碎片(伊藤一彦著)」では、歌の意味を「川上にある瀬と下流の方にある瀬にそれぞれいて、ときどき呼び合いながら父と魚を釣ったものだった。」と説明し、さらに「少年の牧水は一人で釣ることもあったが、父と釣ることもあった。この歌は仲睦まじい父と子の姿が読者にありありと目に浮かぶ。『をりをりに呼び交わしつと』の平明な表現に深い意味あいが感じられる。」とも解説しています。

また、「牧水百歌(志垣澄幸著)」では「この歌は、牧水晩年の作である。その溪流の上つ瀬と下つ瀬に別れて声をかけあいながら鮎を釣った父との思い出である。しかし、このとき父はもうこの世にはいない。歌の調子は実に自然で、なめらかである。父との暖かい交流が感じられてほのかなものが読者の胸に伝わってくる。

牧水自身もその時死がもうすぐそこに近づいていたのである。」と解説しています。

